

各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性に関する研究委員会

WG3：静的貫入試験 打合せ

平成24年度第3回 議事録（案）

日 時	平成25年1月24日（木）9:30～11:30			場 所	地盤工学会 3F会議室			
リーダー	菊池 喜昭	○	幹事	平林 弘	×	委員	國生 剛治	×
委員	後藤 政昭	○	委員	須々田 幸治	○	委員	高田 徹	×
委員	谷本 俊輔	○	委員	西村 真二	×	委員	宮坂 亨明	○
委員	室山 拓生	×	委員	利藤 房男	○			

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席

配付資料

- 資料1 平成24年度第2回WG3議事録（案）
- 資料2 論文リスト（2004年以前）
- 資料3 JGS基準 電気式コーン貫入試験方法

議事

1. 平成24年度第2回議事録（案）の確認
 - ・特に異論はなく，承認された。
2. 論文の調査に関して
 - ・今回資料の論文リストは、2004年までのものである。2004年以降の論文等を対象として、委員で手分けして論文リストを作成する。また、論文自体が入手可能な場合は集めておく（現段階でお金の支払いを伴わない範囲で）。
 - ・収集する論文の範囲は、静的貫入試験（液状化に限定しない）全般とし、室内試験や遠心実験も対象とする。
 - ・論文リストは、論文名称、出典、著者、Keyword、Abstract、論文入手の有無が入ったものとする。リストのフォーマットは、利藤委員が作成し委員全員にお送りする。
 - ・分担は以下のとおりとする。

【菊池委員長】 港湾空港技術研究所論文、地盤工学会（英文論文）、基礎工

【平林幹事、西村委員】 海外論文（ジオテク、カナディアンジオテク、ASCE、国際会議論文）

【谷本委員】 土木研究所論文、寒地土木研究所論文

【後藤委員】 土木学会（日本文論文）

【須々田委員、高田委員】 建築学会論文、建築学会年次、建築研究所論文

【宮坂委員】 地盤工学会（シンポジウム、年次）

【室山委員】 地盤工学会（日本文論文）

【利藤委員】 土木学会（年次）、全地連フォーラム、地質と調査

なお、民間の研究機関発行の論文、技術資料は、委員で手分けして可能な範囲で収集する。

3. 話題提供

- ・利藤委員より、静的コーンの技術的課題の整理の切り口として、以下の話題提供があった。

- ① 三成分コーンを標準で考えた場合の、技術上の課題の整理
→ロバートソンの図を日本の土への適用する際の課題(合わない、合うの議論あり)、排水強度と非排水強度のとらえ方、液状化強度の直接的な推定等
- ② 松竹梅の調査法
→調査法選定のフロー図があってもいいのでは。
- ③ 施工性などのハード面
→調査深度に応じた反力装置、動的やボーリングの併用等

4. 次回の予定

- ・平成25年度第1回WGの開催

日時：平成25年4月19日（金） 15:00～17:00

場所：地盤工学会会議室

内容：論文リストの確認（メンバー全員）

委員会報告内容の確認（平林）

青本サウンディングの規格・基準の紹介（平林）